

ID No.	2052
研究課題名	精子形成における mRNA 分解を介した転写後制御の解析
研究代表者	柳谷 朗子(沖縄科学技術大学院大学・研究員)
研究組織 受入教員 研究分担者	小沢 学(東京大学医科学研究所・生殖システム研究分野・准教授) 伊川 正人(東京大学医科学研究所・生殖システム研究分野・特任教授)
研究報告書	<p>今までの共同実験により、CCR4-NOT 複合体の脱アデニル活性のある構成分子 CNOT7 と CNOT8 を精子細胞特異的に欠損させた <i>Cnot7/Cnot8</i> 欠損マウス(<i>Nanos3-Cnot7/Cnot8</i>)は精子形成不全を伴う男性不妊であることを明らかにした。精子形成における CNOT7 と CNOT8 を介した mRNA 分解の分子機構を解明する為に、対照群のマウス精巣と精子細胞特異的 <i>Cnot7/Cnot8</i> 欠損マウス精巣から抽出した Total RNA を用いて、RNA-seq 解析を行っている。Linux と R を使用した edgeR により RNA-seq 解析を行い、CNOT7 と CNOT8 の欠損により発現が上昇する mRNA と減少する mRNA を同定する。</p>